

2024年3月期第1四半期 連結決算説明会

2023年8月21日



株式会社 シード

ご質問等のある方は、チャットまたはミュート解除してご発言ください。
アンケートの回答へもご協力をお願いいたします。
当説明会のご案内メールに、アンケートフォームのリンクを記載しております。



証券コード
7743

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2024年3月期 第1四半期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料

- 1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要**
2. 2024年3月期 第1四半期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料

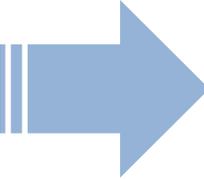
国内

- 行動制限解除による外出機会の増加により需要が増加する中、商品供給不足が発生
- 1日使い捨てタイプへのシフトが依然続いていることやオルソケラトロジーレンズの普及、ミドルエイジ以降の遠近両用及び乱視用コンタクトレンズ等の伸長により、緩やかながらも拡大を続けていくと推測

海外

- 国や地域により差はあるものの、アフターコロナの需要拡大
- 近視人口の増加を背景に回復傾向を示し、今後も市場は着実に拡大する見込み

今後の戦略

- 
- 遠近両用コンタクトレンズやオルソケラトロジーレンズ等の成長性のあるスペシャリティレンズの拡販に注力
 - 安定した商品供給と新商品の開発・生産を含む更なる収益基盤の強化
 - 異なる特性を持った2種類のシリコンハイドロゲルレンズ(Silfaについてはエリア限定)並びにカラーコンタクトレンズ「Bellme(ベルミー)」により更なる需要創出

2024年3月期 連結決算ハイライト

	[百万円] 百万円未満切捨て	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前期比較		2024/3期 通期見通し	進捗率
					増減額	増減率		
売上高		6,733	7,569	7,952	+383	+5.1%	33,000	24.1%
営業利益		337	352	650	+298	+84.6%	1,700	38.3%
(営業利益率)		5.0%	4.7%	8.2%	-	+3.5%	5.2%	-
経常利益		326	409	709	+299	+73.2%	1,650	43.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		141	184	426	+241	+130.7%	700	60.9%

売上高	国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大を示したため、売上高は79.5億円（前年同期比5.1%増）
営業利益	売上高の増加により、売上総利益が増加。また、海外子会社も業績改善する拠点が増え営業利益6.5億円（前年同期比84.6%増）

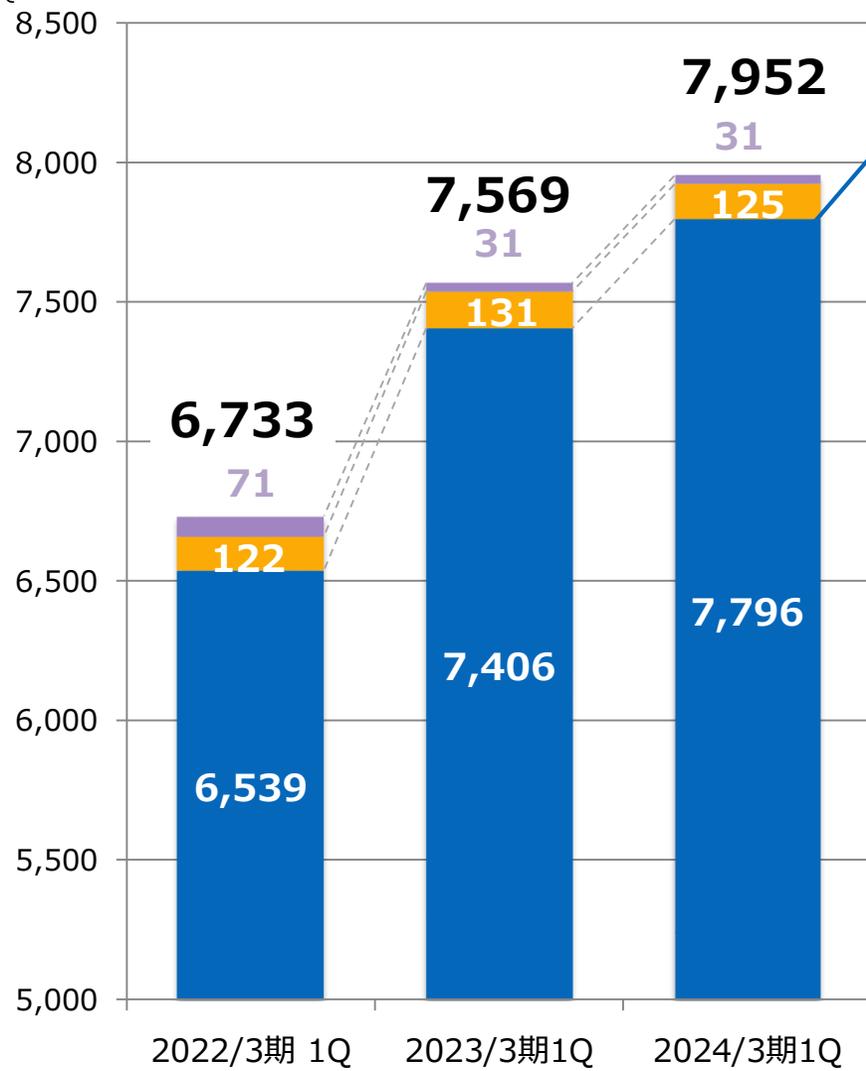
事業別売上高

連結

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他

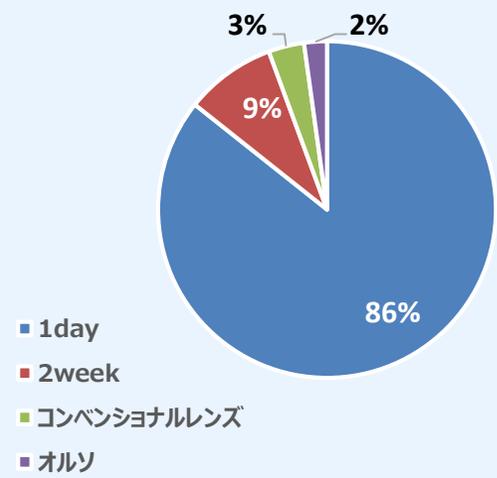
※コンタクトレンズ：光学器械含む
 ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]
 百万円未満切捨て

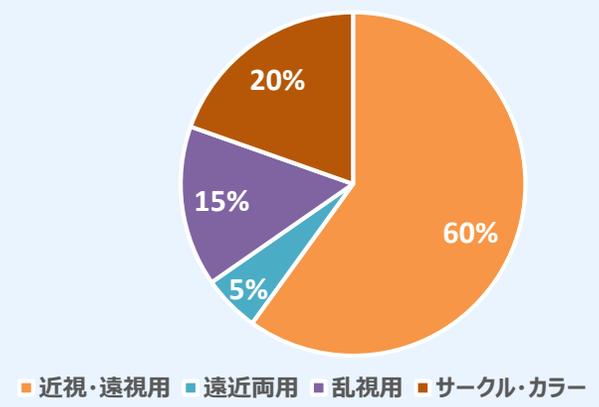


アフターコロナの需要増加を背景に順調に拡大

売上高CLカテゴリ比率



売上高1dayカテゴリ比率



カテゴリ別対前期増減比率（単体卸売ベース）

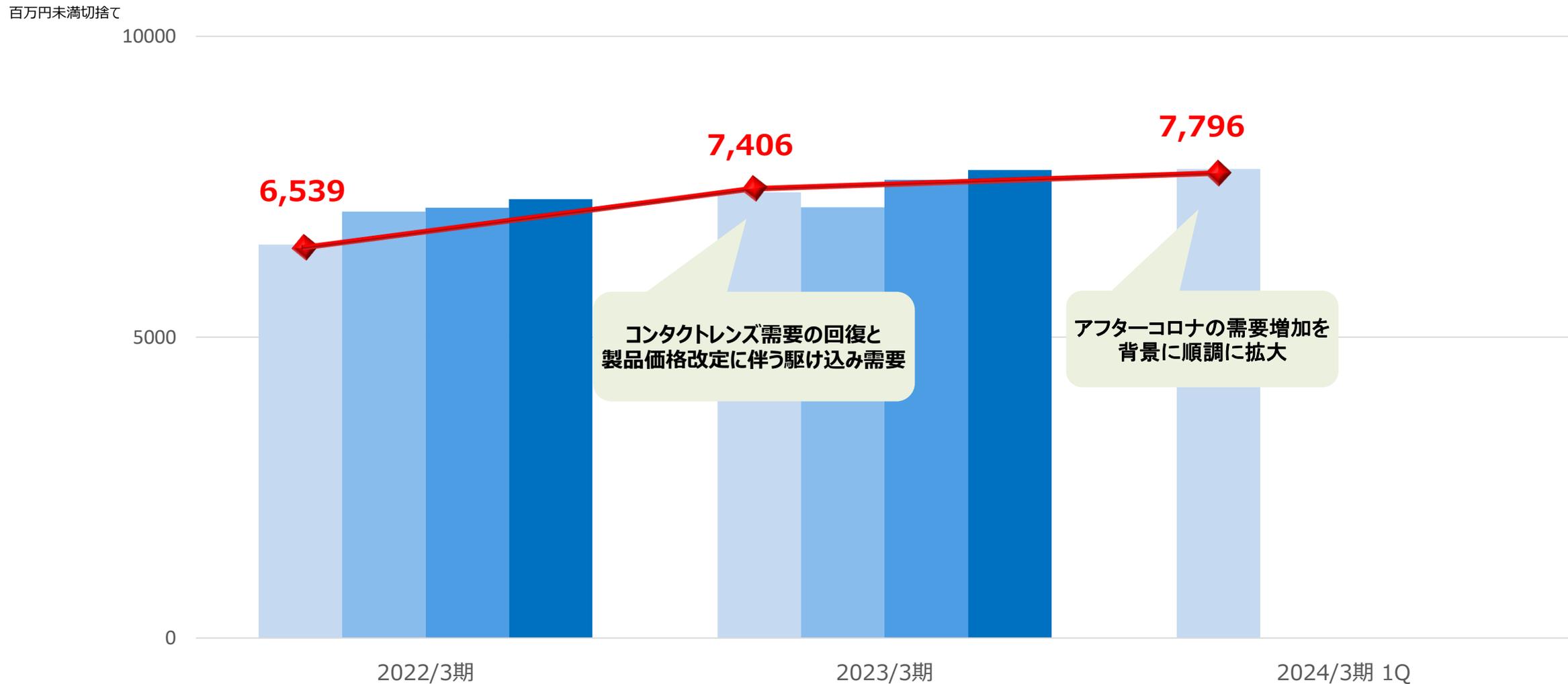
ワンデーピュア	8.2%増	2ウィークピュア	1.2%増
ワンデーファイン	9.3%減	サークル・カラー	2.3%増
オルソケラトロジー	12.8%増	遠近両用	18.2%増

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計
 ※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

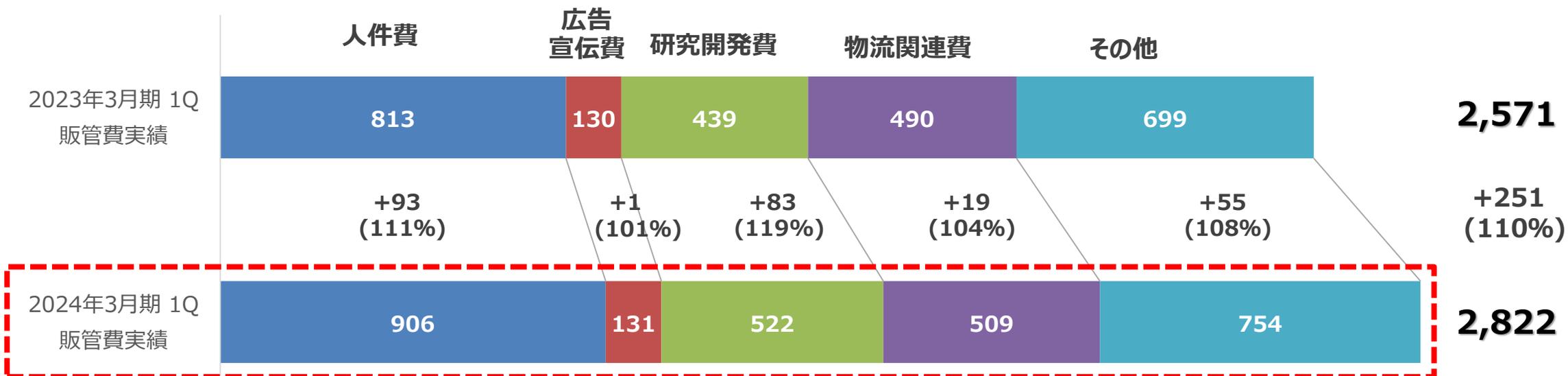
コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

連結 ◇卸売りベース
[百万円]
百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆第1四半期売上高



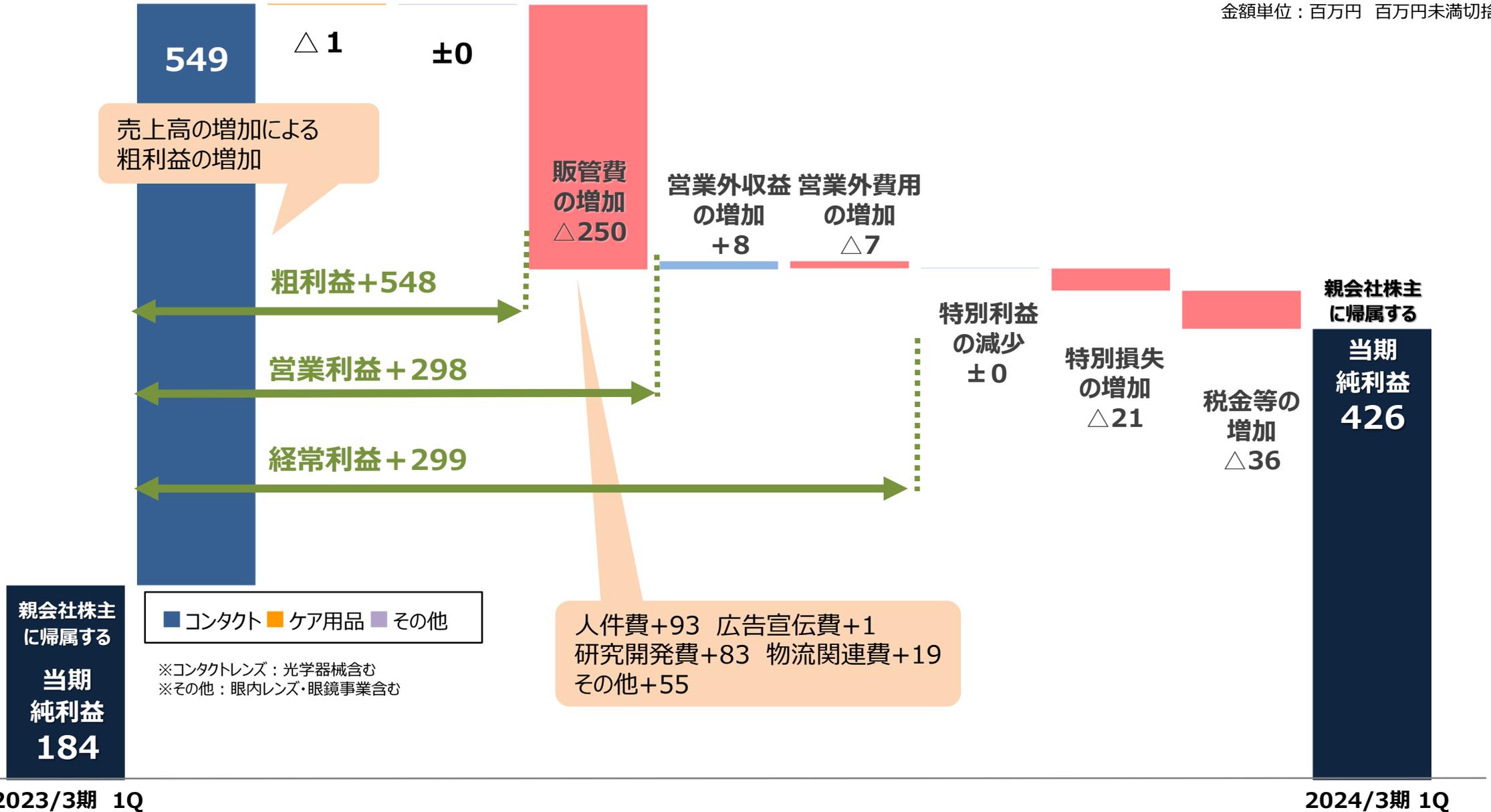
連結



- 人件費 : 給与改定（昇給、手当等の見直し）を行ったことにより、前年同期比で増加
- 広告宣伝費 : 売上高は増加したものの、販売促進費の適正化により、前期同期比と同水準を維持
- 研究開発費 : 1dayPure ED0Fの近視進行抑制に係る治験関係費用、スマートコンタクトレンズの開発費用などにより、前年同期比で増加
- 物流関連費 : 需要増加に伴う国内並びに海外における輸送機会が増えたことにより、前年同期比で増加
- その他 : ランサムウェアトラブル対策として情報のセキュリティシステム導入と情報管理体制の強化、ブランド戦略・価値向上のためのコーポレートブランディングに関する費用が発生したため、前年同期比で増加

利益増減分析

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



財務状況推移

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2023/3月末		2024/3期 1Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	40,011	100.0	41,258	100.0	+1,247
流動資産	17,619	44.0	17,792	43.1	+173
内 現預金	4,938	12.3	5,171	12.5	+232
商品及び製品	5,476	13.7	5,174	12.5	△ 302
貸倒引当金	△ 25		△ 31		-
固定資産	22,392	56.0	23,465	56.9	+1,073
内 有形固定資産	19,173	47.9	20,422	49.5	+1,249
無形固定資産	1,202	3.0	1,160	2.8	△41
負債の部計	27,865	69.6	28,988	70.3	+1,122
流動負債	17,323	43.3	18,457	44.7	+1,134
内 短期借入金	12,608	31.5	13,230	32.1	+621
短期リース債務	1,025	2.6	1,315	3.2	+289
固定負債	10,542	26.3	10,530	25.5	△ 11
内 長期借入金	5,040	12.6	4,505	10.9	△ 534
長期リース債務	2,215	5.5	2,716	6.6	+500
純資産の部計	12,145	30.4	12,269	29.7	+124
負債・純資産計	40,011	100.0	41,258	100.0	+1,247

生産量を超える出荷により減少

鴻巣研究所の新規製造設備の増設に伴うリース資産の増加
・新本社建設関係投資

新本社建設資金 着入金借入

鴻巣研究所の新規製造設備の増設に伴う増加

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前期比較
営業活動によるC・F	768	2,000	+1,232
内 税金等調整前四半期純利益	408	686	+278
減価償却費	631	613	△17
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△785	300	+1,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 85	△171	△85
投資活動によるC・F	△ 353	△ 1,326	△ 972
有形固定資産取得	△ 512	△ 1,329	△817
無形固定資産の取得	△ 2	△ 11	△ 8
事業譲渡による収入	150	-	△ 150
財務活動によるC・F	△ 808	△ 434	+373
内 短期借入金の純増減額	312	668	+356
長期借入金の借入	4	-	△ 4
長期借入金の返済	△ 576	△ 577	△ 1
リース債務の返済による支出	△ 255	△ 231	+24
現金及び現金同等物 四半期末残高	3,511	5,171	+1,660

売上高・粗利益の増加に伴い増加

製品在庫の減少により大きく増加

鴻巣研究所の新規製造設備の増設及び本社新社屋建設費用

2023/3期1Q
(株)シードアイサービス
一部店舗譲渡

新本社建設資金 着手金借入

キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

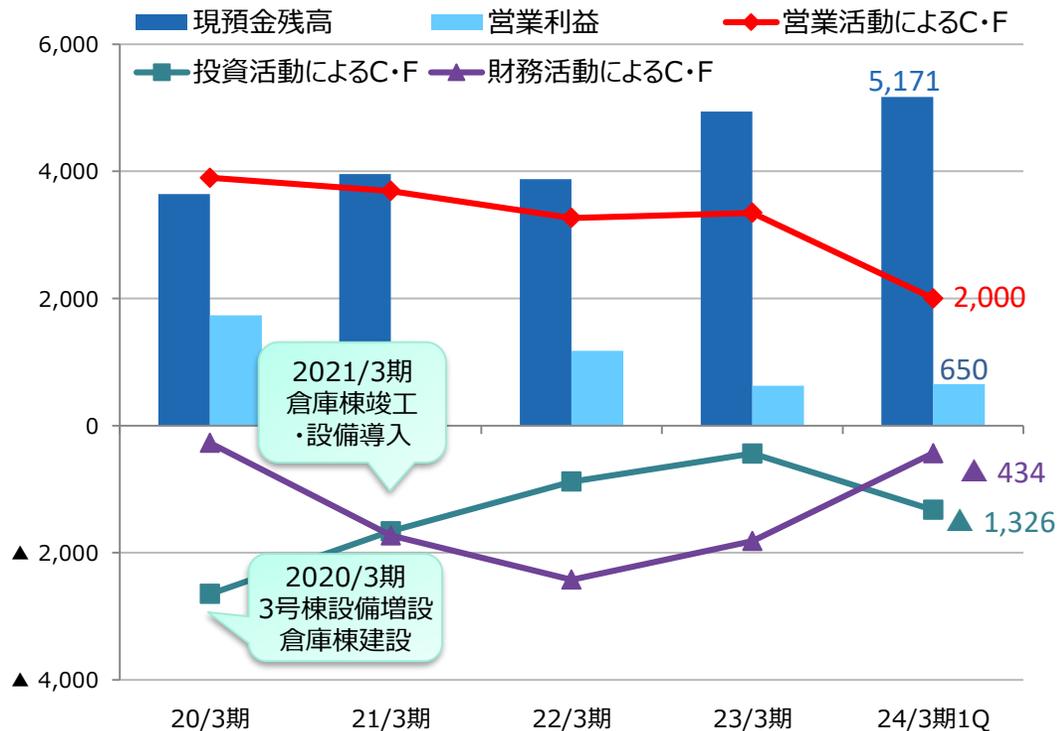
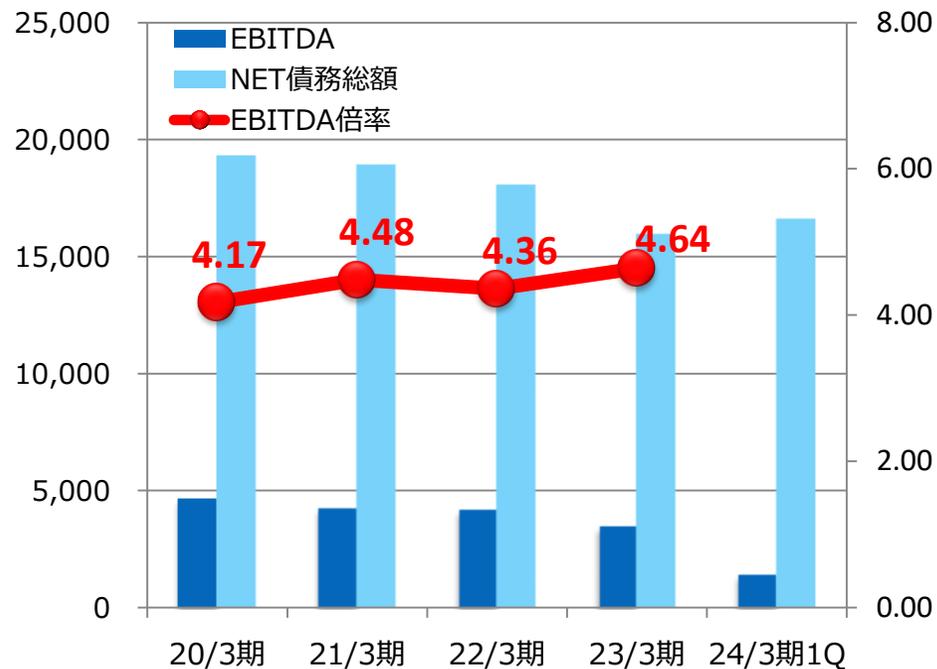
[百万円] 百万円未満切捨て

※2021年3月期以前については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前の数値

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q
EBITDA	4,621	4,218	4,140	3,438	1,111	1,385
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.5%	14.7%	14.4%	11.2%	14.7%	17.4%

[百万円]

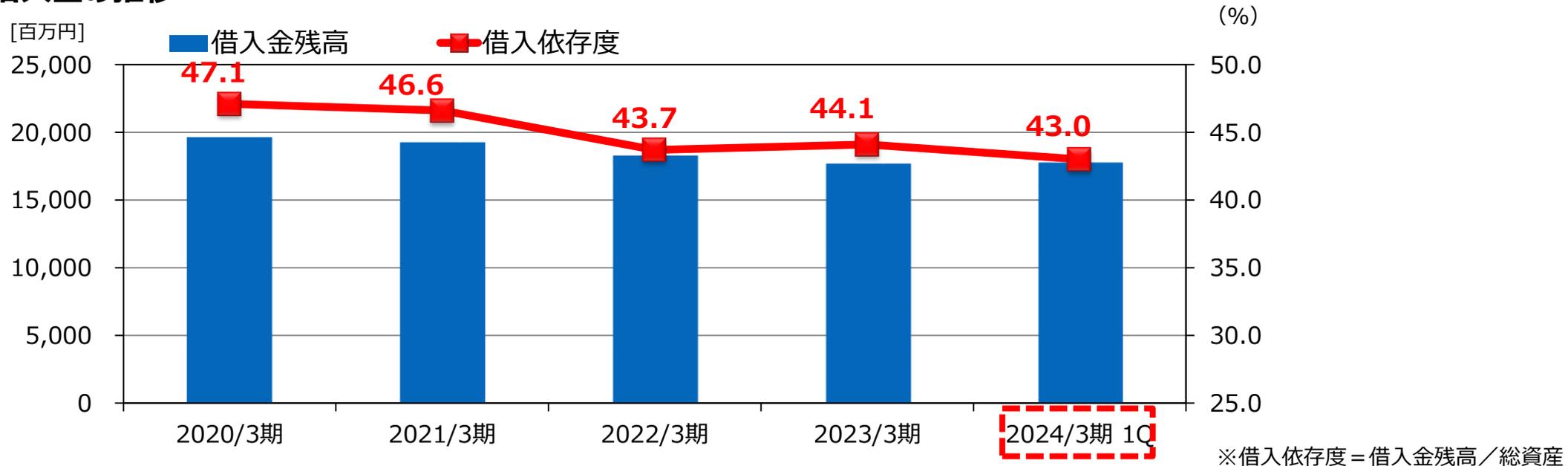
百万円未満切捨て



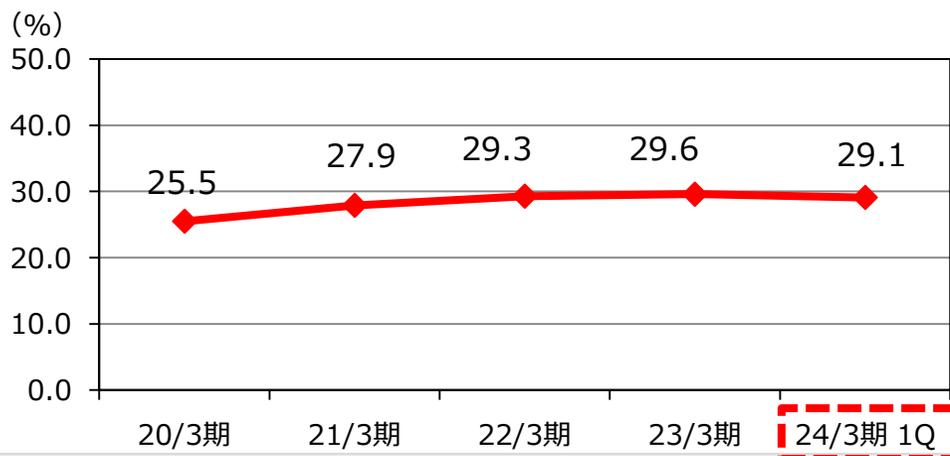
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

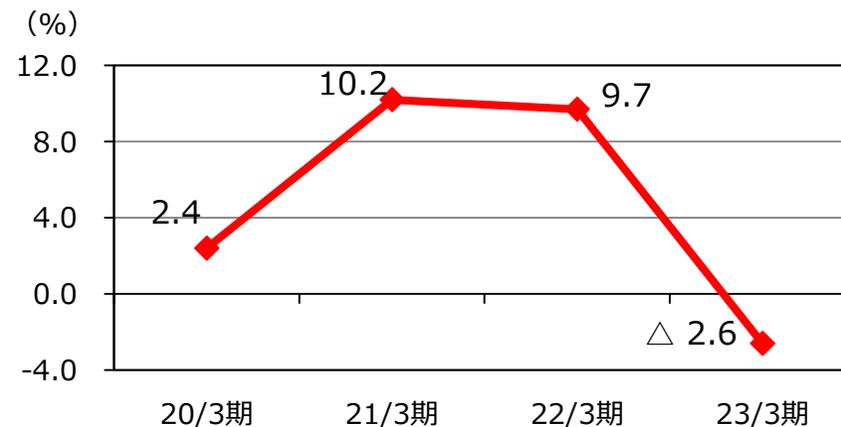
◆借入金の推移



◆自己資本比率



◆自己資本当期純利益率 (ROE)



Made in Nippon Japan Qualityを世界へ

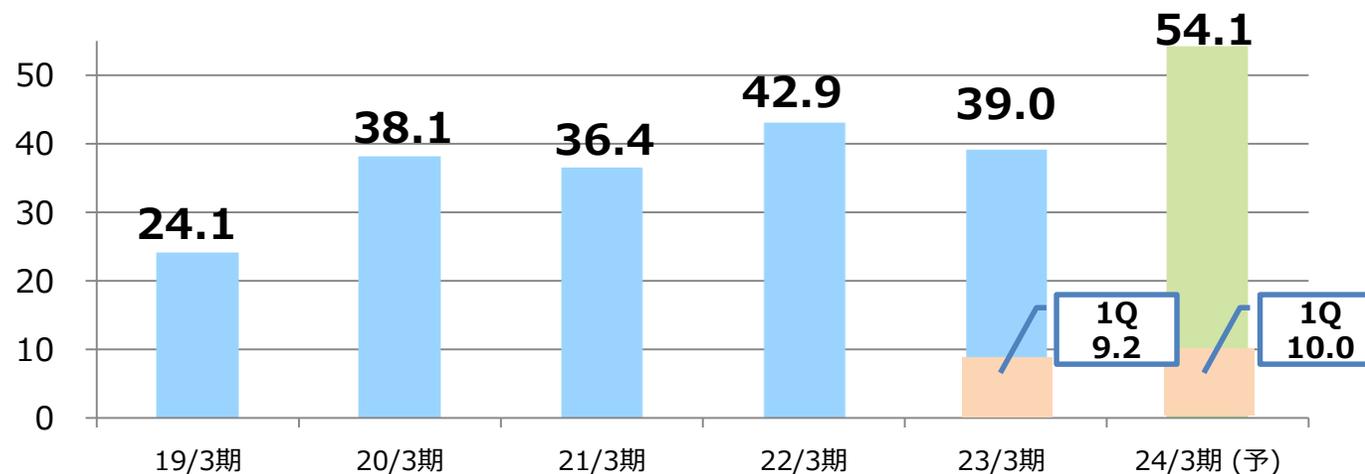
アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に
40以上の国と地域に展開中

主な海外商品



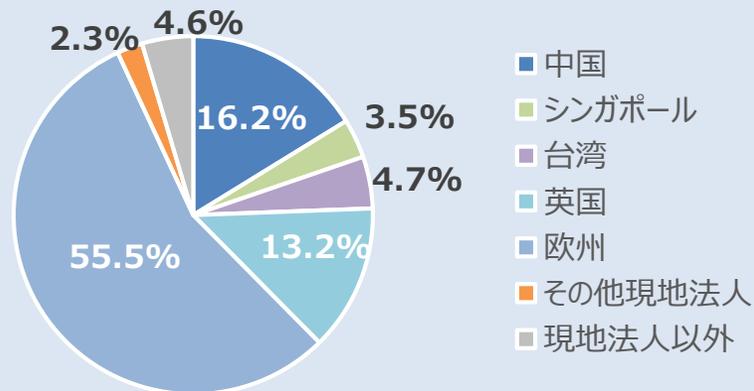
海外売上高推移

[億円]



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

海外売上高構成比 (2024/3期 1Q)



ベトナム社会主義共和国の医科大学内に
コンタクトレンズ処方ルームを贈呈。
今後も講習会の開催などによって
オプトメトリスト育成支援を継続的に行ってまいります。

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要
- 2. 2024年3月期 第1四半期 トピックス**
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料



	計画内容	製造能力枚数/月 ※1	設備投資額 ※2
2024年3月期	1号棟 設備の入れ替え 3号棟 ラインの増設	5,300万枚→5,800万枚	約25億円
2025年3月期	2号棟別館 新設	5,800万枚→6,400万枚	約40億円

※1 開発用ライン含む最大計画数

※2 現時点での見積もり額

◆上記を含む、これらの一連の設備投資について、
【エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）】の認定を取得

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、外した後も裸眼で過ごすことができる治療法。

視力を矯正
したい人が



レンズ装着前

夜にレンズを
つけて寝ると...



🌙 夜つけて

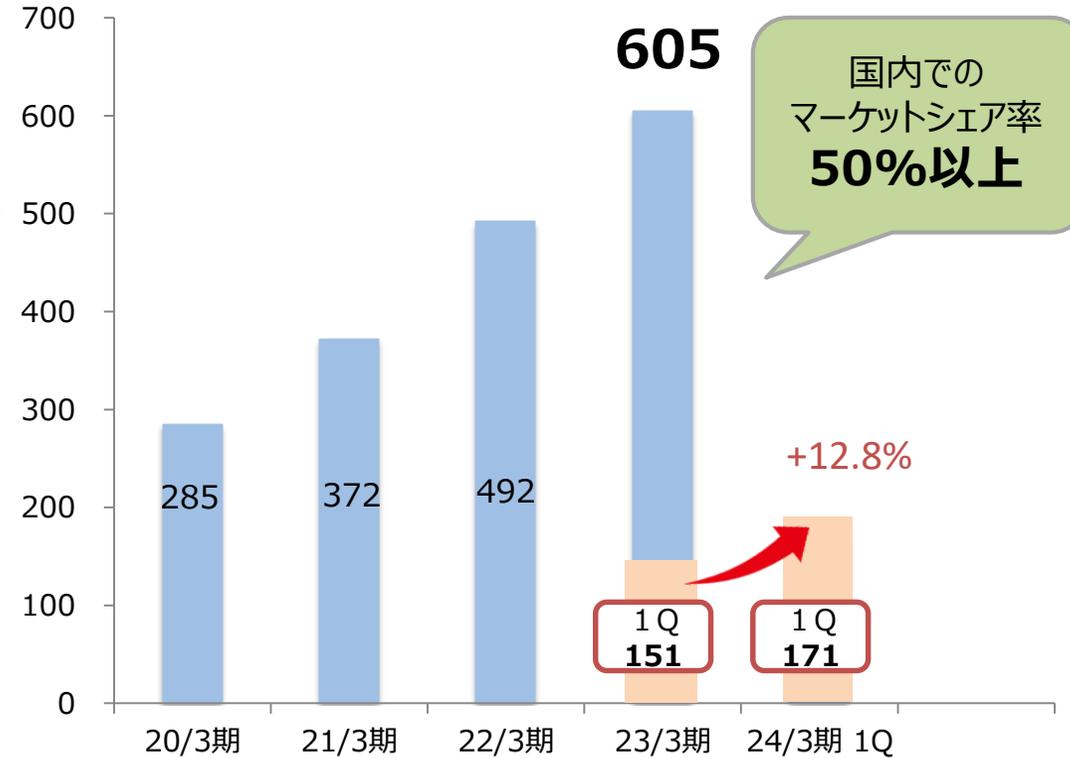
日中は裸眼で
よく見える！



☀️ 朝はずす

[百万円]
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上 ※定額制を含む



国内外の状況

- ・販売中：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州（Wöhlk社製品を販売）
- ・準備中：中国の合併会社へWöhlk製造のレンズ材料を提供する形で事業参画（申請中）



スタートセット(コレクトケア)



リピートセット(コレクトケア)

オルソケラトロジーレンズは特殊なレンズ形状のコンタクトレンズであり、一般的なハードコンタクトレンズに比べ汚れが溜まりやすいため、正しい方法でレンズケアを行いながら使用することが大切です。「ブレスオーコレクト®」専用ケア用品セットは、レンズ使用時に適切なレンズケアを行っていただくことを目的として、当社が推奨しているケア用品をセットにしました。



BLUE SEED PROJECT ~海に愛 (Eye) を~

● **ブリスターのリサイクル活動** 使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト



これまでに **7,432kg** の
ブリスターを回収
(2023年7月28日現在)

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者に販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラエコノミーの実現)
また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。





BLUE SEED PROJECT ~海に愛 (Eye) を~

2023年5月23日に
シードと埼玉県三芳町は、
「ブリスター回収活動における連携
と協力に関する協定」を締結し、
同日に三芳町役場にて協定締結式を
執り行いました。

▶▶ **BLUE SEED PROJECT**初の行政との連携



回収施設

眼科・販売店（関連子会社含む）937施設、企業38社、学校5校、行政1施設に回収箱設置のご協力を
いただいております、順次拡大中(2023年7月28日現在)

高付加価値のコンタクトレンズ

遠近両用コンタクトレンズ・乱視用サークルレンズ
シード1dayPure EDOF・シード Eye coffret 1day UV M TORIC



▶▶ 次世代の自社国内組成シリコンハイドロゲルレンズ開発やDDSコンタクトレンズ（薬物徐放コンタクトレンズ）の治験開始◀◀

近視進行抑制

近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、オルソケラトロジーレンズを用いての治験開始。国内外の大学にて臨床研究を実施中。

近視チェック

《横浜近視予防研究所株式会社》



スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュ センサー（角膜曲率変動測定計）
- ・トリガーフィッシュ（テレメトリー式生体信号測定装置）
- ・次世代眼圧計測コンタクトレンズ開発中



手持ち式のレーザー網膜投影型デバイス

RETISSA®ON HAND（レティッサオンハンド）
《株式会社QDLレーザ》



動物用バンテージコンタクトレンズ

わんタクト・にゃんタクト



動物用眼底カメラ

oDocs nun



スマートフォン設置型眼撮影装置

METORI-50V



プライム市場上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

プライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」および「1日平均売買代金」について、基準を満たしていません。下表のとおり、2024年3月期末までに上場維持基準を満たすために、引き続き各種取組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 ※1	17,146人	104,318単位	81.4億円	41.6%	0.45億円
	2022年12月31日時点※2	－	－	－	－	0.16億円
	2023年3月31日時点※3	24,971人	106,571単位	57.0億円	42.5%	－
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
2023年3月31日時点適合状況（当社試算）		適合	適合	不適合	適合	不適合
計画期間				2024年3月末		2024年12月末

※ 1 東京証券取引所が2021年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

※ 2 東京証券取引所が2022年12月31日を基準に算出したものです。

※ 3 東京証券取引所が2023年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

『中期3ヶ年（2021年4月～2024年3月）経営計画書～「見える」に新たな価値を～』の最終年度となる「**2024年3月期末**」までに、本計画書に記載する各種取組を進めてまいります。

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2024年3月期 第1四半期 トピックス
- 3. 2024年3月期 見通し**
4. 参考資料

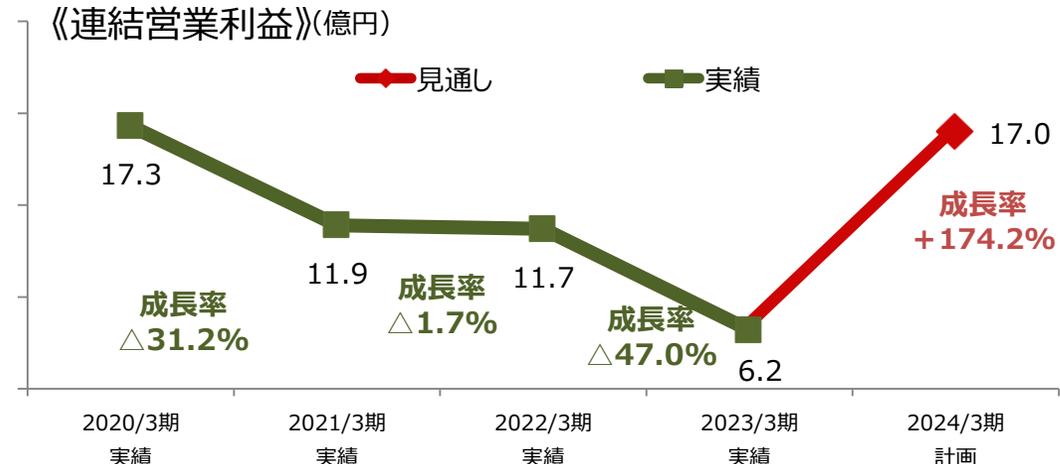
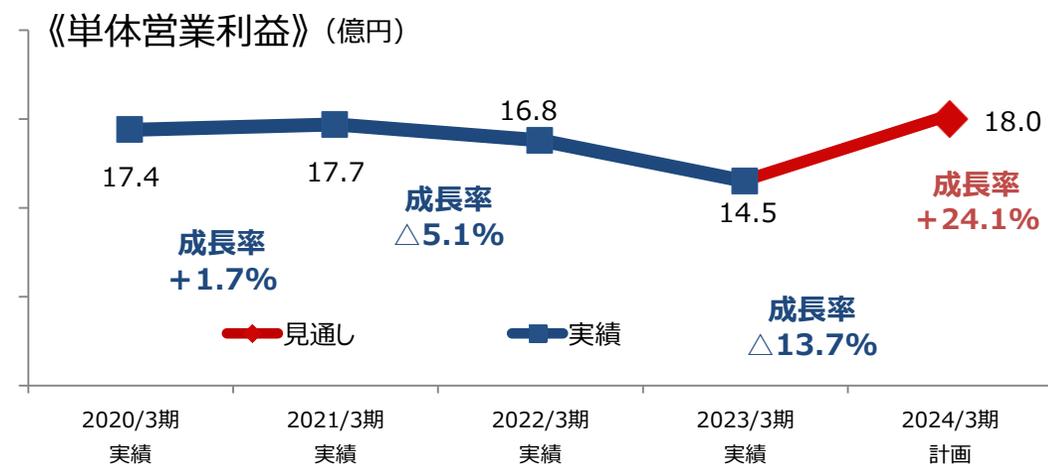
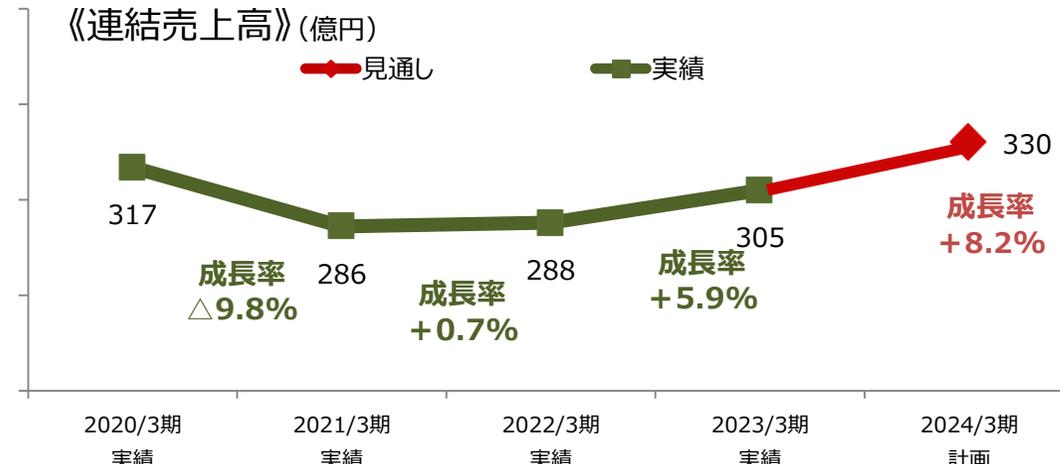
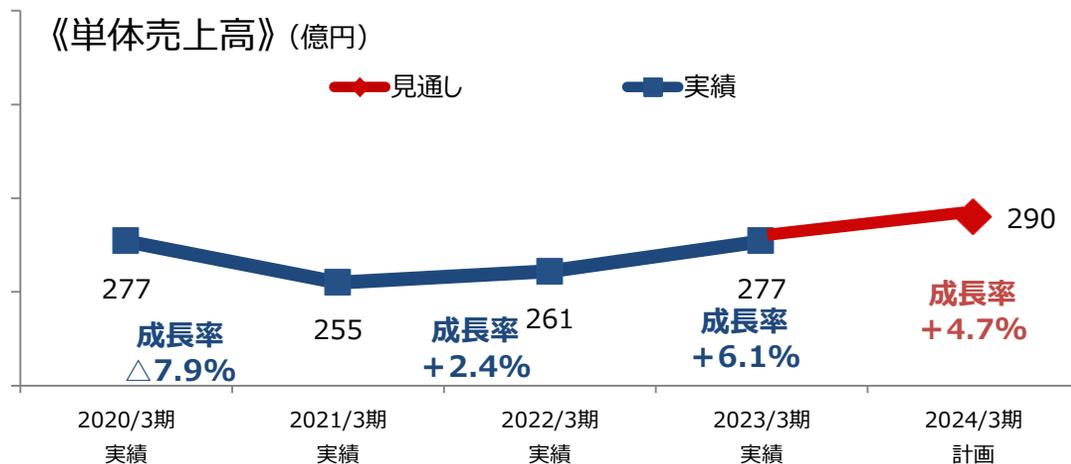
連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2023年3月期	2024年3月期見通し	<参考> 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	30,593	33,000	+2,406	+7.9%
営業利益	629	1,700	+1,070	+169.9%
(営業利益率)	2.1%	5.2%		+3.1%
経常利益	554	1,650	+1,095	+197.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△316	700	+1,016	-

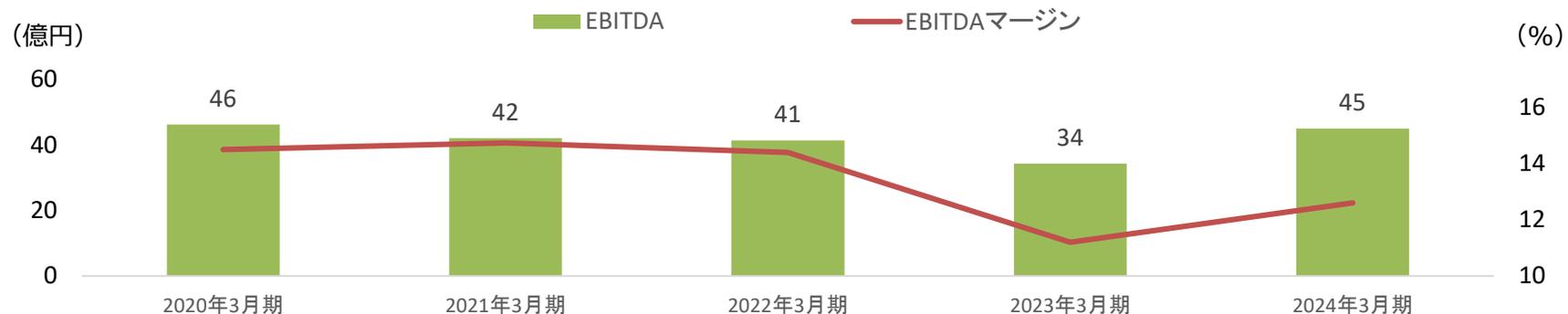
- 売上高
 - ・乱視、遠近等テクニカルレンズの売上の増加
 - ・オルソケラトロジーレンズのシェア拡大／乱視や遠近両用レンズといった高付加価値商品の比率を拡大
 - ・中国国内自社WEBサイト（旗艦店）、中国国外自社WEBサイト（越境EC）を有効活用することにより競争が激しい市場の中で収益力を向上
- 営業利益
 - ・製造ラインの増設、エネルギー効率の改善や歩留改善を行い原価低減を通じた粗利率の向上
 - ・破棄・工程内のムダ削減による粗利率の向上
 - ・主要量販店等へのOEM商品の提供、生産ラインの稼働率を担保
 - ・近視の進行抑制効果をもつコンタクトレンズの開発や治験、スマートコンタクトレンズの第二世代モデルの開発等、今後の成長が見込まれる分野への研究開発については積極的に投資

～財務実績と見通し～



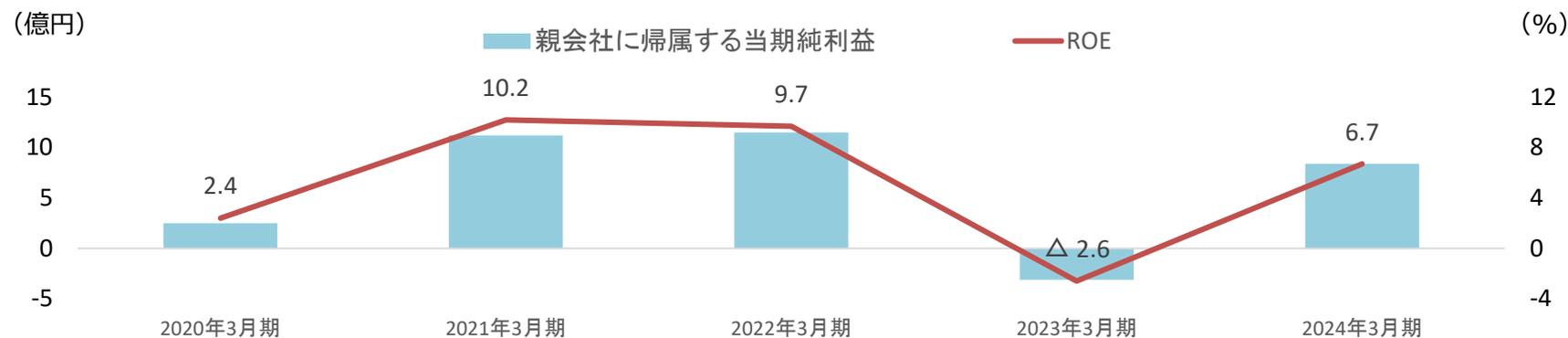
- ✓ ● 2024年3月期は国内向けシリコンレンズ、遠近両用などのスペシャリティレンズが売上を牽引し、連結売上高 330億円達成を見込む。
- ✓ ● 2023年3期に行った主力製品「Pureシリーズ」を含む値上げ効果が通期で寄与し、当期も一部製品の値上げを実施、また、製造原価の低減により、営業利益の増加を見込む。

EBITDA



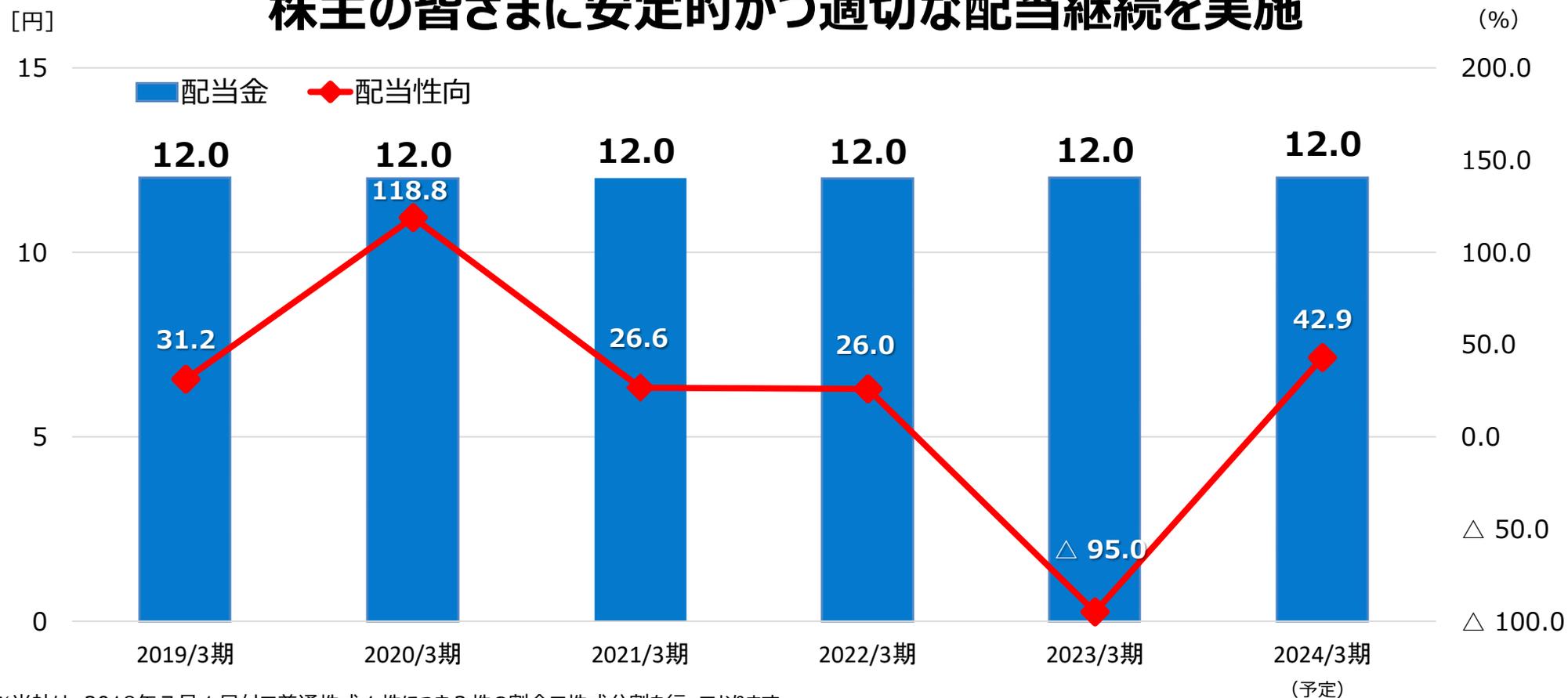
✓ キャッシュ創出力を強化し、将来EBITDA 50億円を目指す

ROE



✓ 利益効率を高め、将来ROE 10%を目指す

株主の皆さまに安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を
継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき **12円**

配当利回り：2.0%
※2023年7月31日現在

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し / 財務実績
- 4. 参考資料**

～「見える」に新たな価値を～

最先端の技術を活用し、高機能・高付加価値の
コンタクトレンズを開発し、市場に新しい価値を提供していく

（中期計画の位置付け）

効率的な生産の実現と更なる品質の向上
非価格競争力のある商品の開発
連結売上高400億円への足場を固める

（シードの主要施策）

**“『Made in Nippon』と『Japan Quality』のプライドを通じて
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

- ✓ 日本国内での安定した成長と同時に、積極果敢な世界展開を実現
- ✓ 積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
- ✓ 省人化・自動化などの技術力の向上により、規模の拡大と多品種少量生産を実現
- ✓ 検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズで実現
- ✓ ダイバシティとインクルージョンの推進及びカーボンニュートラルへの取り組みを実施



本社	東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
設立	1957年10月9日（昭和32年）
上場	1989年12月（平成元年12月）
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	1,841百万円
従業員	986名（連結） ※2023年6月末現在
営業所	8（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他）、その他駐在11（盛岡・静岡 他） ※2023年6月末現在
工場・研究所	研究所：シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）

- 沿革
- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード（SEED）」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2021年5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2022年10月 おかげさまで創立65周年



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



創立65周年

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています



■国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス



シード2weekPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support



シード1dayPure
ED OF

乱視用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure
マルチステージ

遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ

Made in
Nippon



■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
シード Bi-Expert
ユーソフト

■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■オルソケラトロジーレンズ



プレスオーコレクト®

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード1daySilfa

■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M View Support
シード Eye coffret 1day UV M TORIC



ヒロインメイク 1day UV M

■ カラーレンズ



ベルミー

■ シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture

■ Fine UV plusシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus

乱視用



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・消毒・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

1.7%

24/3期 1Q
連結売上高構成比

環境

- 環境マネジメントシステムの構築
 - カーボンニュートラル推進
 - 本社建設資金についてグリーンローンフレームワーク設定
 - 太陽光発電、エネルギー管理システムの構築、水資源の再利用
 - プラスチックリサイクル推進
 - サーキュラーエコノミーシステムの構築（BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化）
➔初の行政との連携として、埼玉県三芳町役場と「ブリスター回収活動における連携と協力に関する協定」を締結
- * 日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得 * 令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

地域・ 社会問題

- 行政との連携：鴻巣市との包括協定締結
- 「シード鴻巣研究所」を構える埼玉県を本拠地とする埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED スタートアップキッズ」の企画協賛
- 積極的な地域活動への参加：地域イベントへの積極的な参加、子供向け工場見学、実験教室開催
- 少子高齢化など、社会のニーズに合わせた商品や先進技術を駆使した 高機能・高付加価値製品の開発
- 富士メガネ「海外難民視力支援ミッション」にメガネフレームを寄贈

多様な社員の 確保

- 働きやすい職場づくり：企業主導型保育園の開園、在宅勤務、フレックス制の導入、時短勤務等の導入、男性育休制度の推進
- ダイバーシティ化：外国籍社員雇用、ベトナム人技能実習生の受入、越境在宅勤務制度の採用
- 障がい者雇用の推進

災害対策

- 自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み：BCPの恒常的な推進、物流拠点の分散化、災害時初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成や災害時における安否確認システムの導入
- * 東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定

SNS

シード公式



- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・会社や社員の様子
- ・CSR活動
- ・イベントの告知

【商品アカウント】

シード1dayPure View Support



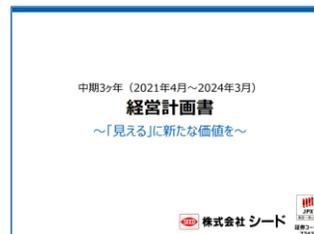
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



当社HP



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書



決算説明会資料



株主総会資料

その他

2022年6月20日（月）より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

企業と個人株主・投資家をつなぐ



<https://sharebee.jp/>



国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司 (中国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中国)

*上海実瞳健康科技有限公司 (中国)

上海実瞳視光医療科技有限公司 (中国)

*香港実瞳健康科技有限公司 (香港)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk-Contact-Linsen Vertriebs GmbH
(オーストリア)

*Sensimed SA
(スイス)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

※2023年6月現在

* : 連結子会社

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。